

## FRP 廃船高度リサイクルシステム構築プロジェクト 平成 13 年度実施概要

## 1. プロジェクト事業概要

FRP 廃船の不法投棄、放置艇の沈廃船化等社会的問題に対処するとともに、循環型社会の構築や資源の有効活用等の社会的要請に応えるため、

FRP 廃船を解体、破碎し、その破砕片をセメント等の原材料として利用する現時点で最も実現性が高いリサイクル技術を確立するとともに、

FRP 船の劣化・損傷箇所のみを取替え可能とし、船体の長寿命化を図る、船体各部の接合及び劣化・損傷箇所等の交換・修復を容易化する等のリユース技術を確立する。

## 2. 実施主体

プロジェクトの円滑な運営を図るため、学識経験者等（委員長：金原金沢工業大学教授、委員長代理：細田慶応義塾大学教授）から構成される「FRP 廃船高度リサイクルシステム構築推進委員会」を設置。独立行政法人海上技術安全研究所が中心となって研究開発を実施。

## 3. 平成 13 年度事業の概要

リサイクル技術の確立：

平成 12 年度に得られた課題の克服に向け、12 年度より多くの試験体を使用し、セメント炉の影響評価や破碎機構の耐久性向上等に関する試験を実施。なお、破碎機構の刃の耐久性の検証及び発泡剤と FRP 材と自動選別手法の技術的改良等が課題となった。

リユース技術の確立：

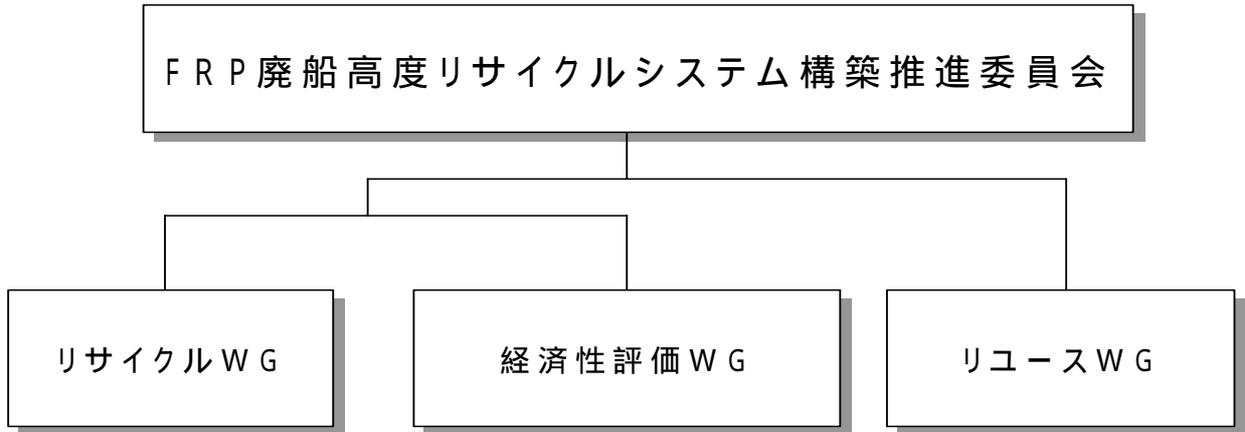
船体各部接合法における構造強度評価、リユース可能な FRP 船の要素技術開発、劣化診断技術開発及び補修技術の標準化等を実施した。

リサイクルシステムの事業化のための検討：

FRP 船保有数が多く、廃船問題に対する関心が高い地域において、FRP 船のリサイクルシステムの事業化モデルを検討するとともに、リサイクルシステム運用開始に向け、事業化に必要な基本的事項の検討を開始した。



# FRP 廃船高度リサイクルシステム構築プロジェクト 推進体制



## FRP 廃船高度リサイクルシステム構築推進委員会名簿

氏 名	所 属
安藤 久司	(財)日本海洋レジャー安全・振興協会 理事長
大塚 元一	(社)全国産業廃棄物連合会 専務理事
岡 晴信	(社)海洋レクリエーション協会 会長
金原 勲	金沢工業大学 高度材料科学研究開発センター 教授
桑名 幸一	海洋ジャーナリスト
小林 修	(社)日本舟艇工業会 専務理事
東海林 芳郎	(社)強化プラスチック協会分室 FRP 再資源化実証センター長
鈴木 實	(社)日本中小型造船工業会 常務理事
土屋 孟	(社)海洋水産システム協会 会長
富田 稔	(財)日本セーリング連盟 理事
福井 正幸	(社)日本マリーナ・ビーチ協会 常務理事
細田 衛士	慶應義塾大学 経済学部教授
宮原 邦之	全国漁業協同組合連合会 常務理事
森 良夫	日本小型船舶検査機構 理事
山下 弘文	(社)セメント協会 専務理事
吉村 秀實	ジャーナリスト
渡邊 巖	独立行政法人 海上技術安全研究所 理事

(敬称略。五十音順)

：委員長

：委員長代理